



どんな学校？

課程： 全日制 普通科

本校は令和元年度から3年間、「総合的な探究の時間」の研究指定校として、生徒の課題発見・解決力の育成に力を入れています。「進学先の向こうにある社会」を意識し、未知の問題への対応力をつけるとともに、ポートフォリオ作成などを通してキャリア教育を推進しています。



どんなメンバー？

学校

科学部、園芸部の生徒
ほか有志生徒
教員（活動連携グループ）

地域

戸塚宿ほのぼの商和会



どんな団体？

戸塚駅西口にある商店会「戸塚宿ほのぼの商和会」は、JR「戸塚」駅西口、戸塚小学校近辺と、国道1号線付近に点在する商店で組織されています。まだ歴史は浅く、区役所の移転を機に2007（平成19）年にできた商店会で、2017年9月現在67店舗が参加しています。
（公式ホームページより）



はじめたきっかけは？

舞岡高等学校は、校内敷地の1/3が竹林となっています。敷地管理のため、定期的な伐採が必要ですが、成竹の伐採は作業が大変なため、タケノコのうちに採取しておくことが大切です。これまでは教員や技能員で行ってきましたが、1シーズンの採取量は100~200本とかなり多くなっています。そこで、次の3つの視点で活用を考えました。

- ① 舞岡高校のタケノコを活用し、他校との差別化を目指し、舞岡高校のブランディングを行う。
- ② 生徒・学校と地域の連携を促進し、循環型社会・SDGsの視点を持った生徒の深い学びにつなげる。
- ③ 地域食材（資源）の地産地消を促進する。

日頃から親交のある地域商店会の方に声をかけ、有志の生徒の活動として、取組をスタートすることになりました。

すくコミ!

～コミュニティースクール事例集～



学校名

舞岡高等学校

活動名

マイタケプロジェクト

神奈川県教育委員会 教育局
指導部 高校教育課 高校教育企画室

この冊子はホームページにも記載しています →



取組紹介

取組の流れ

時数	学習内容
1	活動する生徒を募集する
2	竹藪整備をしながら活用方法を模索する
3	地域のお店でタケノコを活用してもらえよう働きかける

1 HOP
2020年

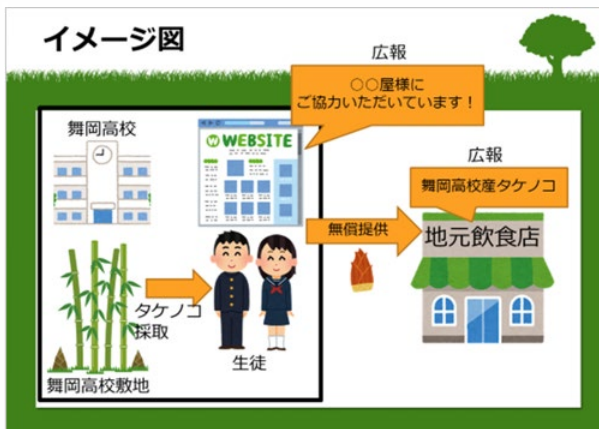
活動連携グループから、生徒へ呼びかけを行う。

先生の思い

本校ならではの資源、「タケノコ」を利用して、生徒の学びにつなげられないだろうか…

2 STEP
2021年4~6月

放課後の時間を活用して敷地内竹林のタケノコを採取する。ブランディングの案を練る。



3 JUMP
2021年6月~

「総合的な探究の時間」で外部連携先としてお世話になっている、戸塚宿ほのぼの商和会(6店舗)加盟店舗で、採取した「タケノコ」を活用してもらう。



生徒の感想

- ・学校敷地内に自生している竹で、地域商店街とつながることができとても楽しかった。
- ・自分が竹藪の手入れをすることで、喜んでくれる人がいて、嬉しかった。

地域の感想

- ・地産地消の取組を進めていく中で、地元の学校と連携して取り組むことができ、魅力的な活動だった。今後も連携を進めていきたい。